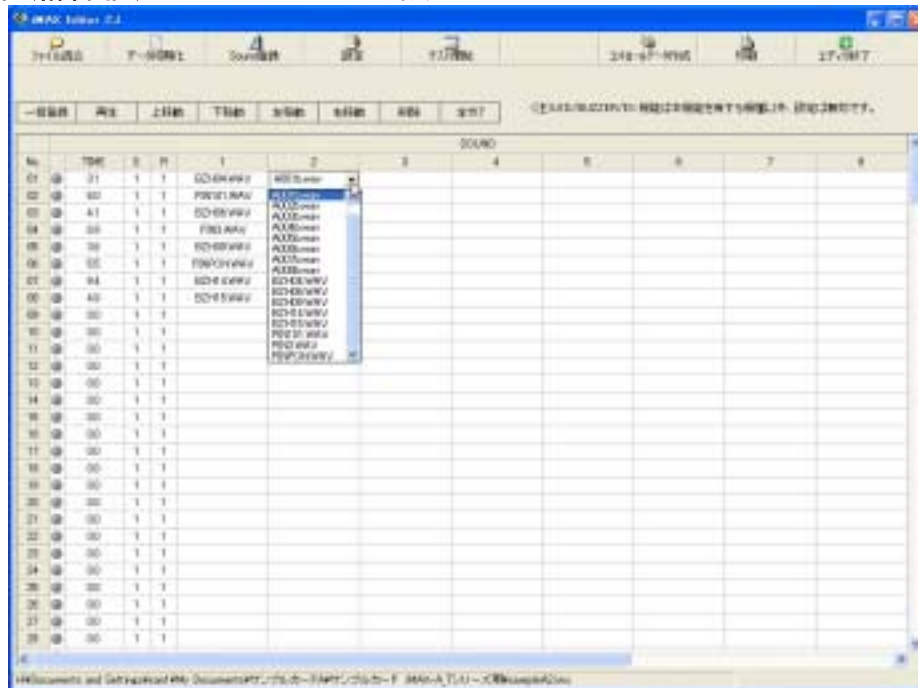


12. エディタ画面(編集画面)の説明

■エディタ画面(編集画面)


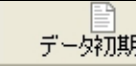
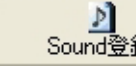




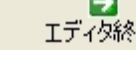
(注)設定—



■メニューボタン

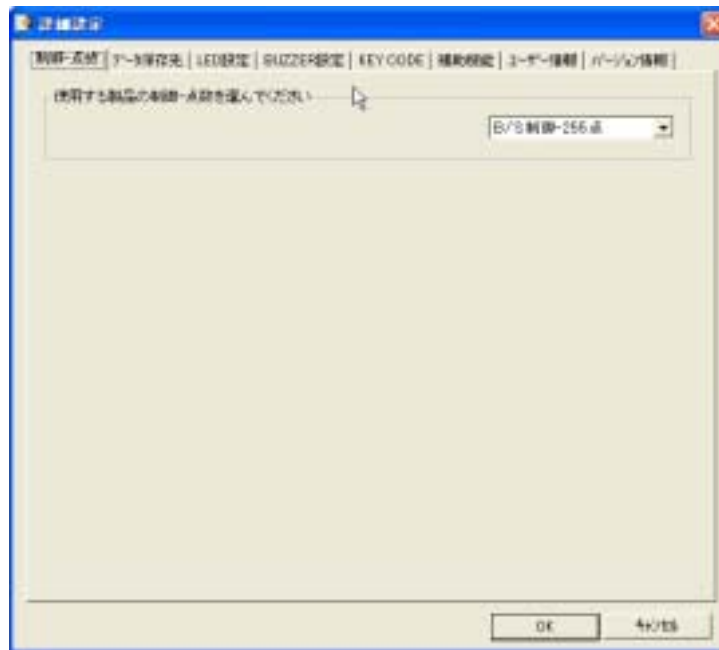
メニューボタンで各機能を選択できます。



ボタン	ボタン名	内容
 ファイル読み込	ファイル読み込	作成したコントロールデータを読み込みできます。 (注)ファイル保存はコントロールデータ作成で行います。
 データ初期化	ファイル読み込	作成したコントロールデータを読み込みできます。 (注)ファイル保存はコントロールデータ作成で行います。
 Sound登録	音声・音源データの登録	使用する音声・音源データ(WAVE ファイル)を試聴・登録します。
 設定	設定	本画面上で登録する接点・アドレス数(CH 数)、LED 点灯点滅パターン設定、ブザー鳴動パターン設定、システム設定を行います。
 テスト開始	テスト開始	一括再生テストができます。 001～順番に再生します。
 コントロールデータ作成	コントロールデータ作成	本画面上で所定データを入力してコントロールデータを作成します。
 印刷	印刷	本画面上で各種情報の印刷ができます。
 エディタ終了	編集画面を閉じる	本ソフトを終了します。

13. 設定

■設定画面



■タグ



コントロールデータの編集を行う前に、詳細設定画面で下記データを設定します。

制御-点数	使用するコントローラの型式を設定します。 この設定で、画面上で入力できる入力端子(アドレス)数が設定されます。 作成するコントロールデータファイル名や保存先のフォルダー名を設定できます。
データ保存先	作製したコントロールデータの保存先を設定できます。 【デフォルト】 My Documents\MaxEditor CardData
LED設定	点滅パターンを時間設定して3パターン設定できます。 エディタ画面上では、設定した3パターン以外に無灯、点灯(連続)を加え、5パターンから選択できます。
ブザー設定	鳴動パターンを時間設定して3パターン設定できます。 エディタ画面上では、設定した3パターン以外に停止、鳴動(連続)を加え、5パターンから選択できます。
KEY CODE	ユーザー登録・配布されたKEY CODEを入力します。
補助機能	通常は使用しません。
ユーザー情報	本ソフト登録時のユーザー情報を表示します。
バージョン情報	本ソフトのバージョン情報を表示します。

■制御-点数

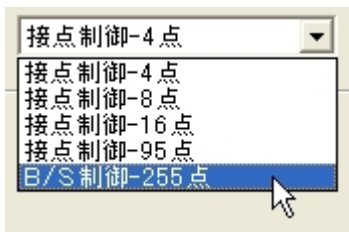


本画面で、制御モード・点数を設定します。

設定によりエディタ画面の入力点数が切り替わります。

(注)

LED/BUZZAR/EX は搭載していない機種では、入力項目は入力しても無効になります。

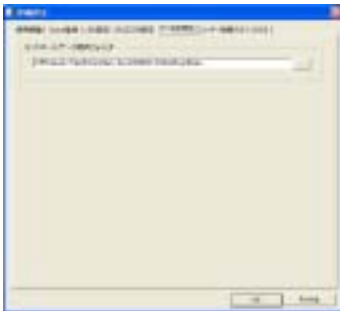


制御モード-点数	制御モード	対象機種
(接点制御-2点)	接点制御	KEY CODE 未入力時
接点制御-4点	接点制御	iMAX-A2 他
接点制御-8点	接点制御	iMAX-A2 他
接点制御-16点	接点制御	iMAX-A3 他
接点制御-95点	接点制御	iMAX-T 他
B/S制御-255点	接点制御 バイナリ制御 シリアル制御	iMAX-A2/A3 バイナリ制御 iMAX シリーズ全機種

(注) 1.B/S-255点で作成したカードデータは接点 4-95点でも使用可。

2. VoiceNavi Editor で作成したカードデータでも使用可

■データ保存先



作製したコントロールデータの保存先を設定できます。

【デフォルト】 My Documents\iMaxEditor CardData

■LED設定



【適用機種】 LED 出力回路を有する製品

LED 表示灯の点滅パターンを設定します。

無灯、点灯(連続)はエディタ画面上で選択できます。

[テスト機能]

プレビューの口欄をチェックしますと、画面上の LED ランプ表示が点灯点滅します。

(注)

テスト機能の LED ランプ表示の点灯点滅はパソコン本体の機能に依存しています。実際の場合、iMAX シリーズと接続する LED 表示灯により若干、点灯点滅スピードが異なる場合もあります。

■BUZZAR 設定



【適用機種】 ブザー出力回路を有する製品

ブザー鳴動(断続)パターンを設定します。

停止、連続はエディタ画面上で選択できます。

[テスト機能]

プレビューの口欄をチェックしますと、画面上の LED ランプ表示が点灯点滅します。

(注)

テスト機能の LED ランプ表示の点灯点滅はパソコン本体の機能に依存しています。実際の場合、iMAX シリーズと接続するブザーにより若干、鳴動スピードが異なる場合もあります。

■データ保存先



作製したコントロールデータの保存先を設定できます。
【デフォルト】 My Documents\iMAX Editor CardData

■KEY CODE



ユーザー登録・配布された KEY CODE を入力します。

【KEY CODE】
KEY CODE 入力後、入力は非表示になります。

■補助機能



通常時、使用しません。

■ユーザー情報



インストール時に登録したユーザー情報を表示します。

(注)
変更できません。
ユーザー情報は作成したコントロールデータに付記されます。

■バージョン情報



バージョン情報を表示します。

14.音声・音響データの事前登録・変更（SOUND 登録）

登録前に	設定画面の「制御-点数」で使用する製品に合わせて設定して下さい。 不明な場合、B/S 制御-255 点に設定して下さい。
------	---

本 WAVE 登録画面で、使用する音声・音響データ(WAVE ファイル)を登録します。

本画面で登録した音声・音響データ(WAVE ファイル)はエディタ画面(アドレス・プログラム登録)上で何回でもご登録できます。

【登録上のご注意】

同一ファイル名を重複して登録できません。

登録した音声・音響データ(WAVE ファイル)は、カードデータ作成時、全て CardData 内に複写します。

【SOUND 登録画面】



【操作ボタン 2】

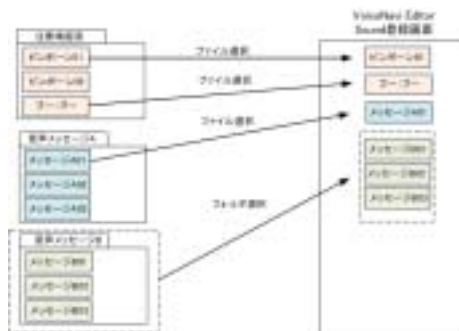
ファイル選択	上へ移動	試聴	削除
フォルダ選択	下へ移動	全試聴	全削除

名称	内容
ファイル選択	指定したフォルダ内の音声データ(WAVE ファイル)単位で登録します。 [複数ファイル登録] SIFT+ Ctrl+などを使用して複数ファイルを選択
フォルダ選択	指定したフォルダ内の音声データ(WAVE ファイル)を一括で登録できます
上移動	音声データ(WAVE ファイル)を上移動
下移動	音声データ(WAVE ファイル)を下移動
試聴	No.単位で試聴できます
全試聴	No.全てを順番に試聴できます
削除	指定した音声データ(WAVE ファイル)を削除します
全削除	画面上の全音声データ情報を削除(オールクリア)します

●音声・音響データの複数フォルダ対応

Sound 登録では複数の収納フォルダを切り替えて、個別ファイル単位、フォルダ単位で登録できます。

効果音別、メッセージ別に収納フォルダを作成し、データライブラリ化すると管理しやすいです。



【登録可能音声・音響データファイル】

シリーズ	音源タイプ	登録可能サンプリングモード	備考欄
iMAX シリーズ	WAV	44.1KHz 16/8Bit Mono	11.025KHz 16/8Bit Mono 可
		22.05KHz 16/8Bit Mono	32/16/8KHz 16/8Bit Mono 可

【1ファイル容量制限】

シリーズ	1ファイル容量制限	備考欄
iMAX シリーズ	使用するカード容量内	

【適用ファイル形式】 (注)日本語、ロングネームのファイルは使用できません

8.3 形式	アルファベット英数字 8 文字表示 [例] 1234568.wav 111_123.wav aaaaa123.wav abc_001.wav
--------	---

- (使用不可)
- ・ロングネームのファイル名はご使用できません。
 - ・スペース、-, (), {} など Windows 上のファイル名の禁止文字は使用できません。

【iMAX Editor で再生でき、弊社製品上で再生できない(認識できない)WAVE ファイルについて】

サポートソフト iMAXEditor は WAVE ファイルの再生は Windows OS に依存しています。

弊社製品は D/A 変換で WAVE ファイルを再生している関係上、M 再生できない(認識できない)WAVE ファイルがあります。MS DOS のファイル形式を採用しています。

現象・原因	対策
ファイル名またはファイル名の一部に日本語が使用されている場合	英数字のように見えるが、全角数字などが使用されているファイル ファイル名を半角英数字にする
ファイル名が 8 文字以上の場合	WAV/WRX シリーズでは日本語、ロングネームのファイル名に対応していません。 8 文字以内にする
ファイル名の禁止文字	スペース、-, (), {} 他 _(アンダーバー)は可
高額な録音編集ソフトで作成した WAVE ファイル	正規の情報箇所(タグ情報、付加情報)に記載されている 「SoundEngine」 「WavePassri」などのファイル読み込み・保存する
拡張子は.wav だが、実際の拡張子は違う	Windows PC 上では再生するが WAVE ファイルではない。 録音編集ソフトで読み込めるか試す。

■ツール（16Bit→8Bit 変換/ステレオ→モノ変換/無音 WAVE データ作成）

16Bit データを 8Bit データに、ステレオデータをモノラルデータにフォルダ単位、ファイル単位でコンバートできます。また無音の WAVE ファイルを1～59 秒、1～5 分の時間指定で作成できます。

■WAVE 変換



WAVE ファイル ステレオ→モノラルまたは 16Bit→8Bit にフォルダまたはファイル単位でファイルコンバートできます。

【コンバートのファイル名】

コンバート前	コンバート後
*****.wav	****_001.wav

(注)***の部分の部分が同一の場合、_001～附番

■無音 WAVE

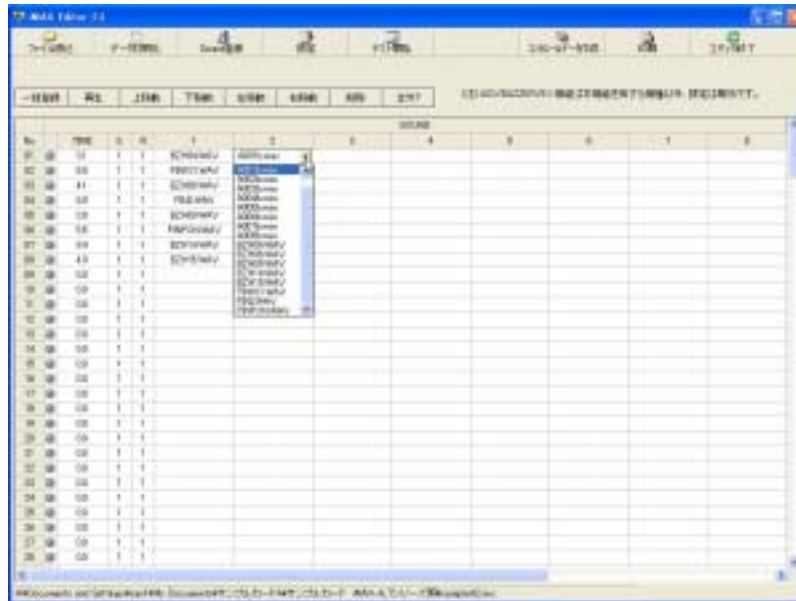


指定した時間の無音の WAVE ファイルを作成できます。事前にフォルダを用意します。

時間指定 **分**秒	通常 1 秒 2 秒 5 秒 10 秒などの無音データを事前に作成しておきます。
BIT/サンプリングレートの指定	22.05KHz 16Bit Mono
作成するファイル名の指定	(例)muon_05 ファイル名 アルファベット英数字 8 文字以内

15. エディット - アドレス(接点端子)へのデータ登録・変更

エディタ画面で、iMAX シリーズに対応したアドレス（接点端子）登録を行ないます。
必要に応じて、組立再生、リピート回数のプログラム登録を行ないます。
WAVE ファイル登録画面で登録した WAVE ファイルを何回でもご使用できます。



【エディタ画面】



【操作ボタン】

一括登録	再生	上移動	下移動	左移動	右移動	削除	全クリア
------	----	-----	-----	-----	-----	----	------

名称	内容
一括登録	WAVE ファイル登録画面のデータをエディタ画面に一括登録します
再生	No.単位(アドレス)で試聴できます
上移動	音声データ(WAVE ファイル)を上移動
下移動	音声データ(WAVE ファイル)を下移動
左移動	音声データ(WAVE ファイル)を左移動
右移動	指定した音声データ(WAVE ファイル)を削除します
削除	指定した音声データ(WAVE ファイル)を削除します その際、後に音声データがある場合、左移動します
全クリア	エディタ画面上の全音声データ情報を削除(オールクリア)します 但し、WAVE 登録データやカード作成データなどはそのままです。



名称	内容	メモ
No.	アドレス(接点端子)	後記記載の No.-アドレス対応表参照
SP	音声出力系統の設定	(注)出力系統の切替機能を有する機種
RP	リピート回数設定	最大5回までリピートできます (組立再生1-8全体)
VOICE 1-8	音声データ(WAVE ファイル)の登録	最大8データまで組立再生できます

■アドレス(接点端子)の登録

本画面の No.は、iMAX シリーズのアドレス(接点端子)に対応しています。

試聴ボタンで個別 No.毎に再生できます。

全試聴ボタンで全 No.を再生できます。

(注)プログラム登録内容も反映して再生します。



登録する No.のセルをマウスで指定し、WAVE ファイル選択画面から WAVE ファイルを選択・登録します。

■ 試聴



全試聴ボタンで全 No.を再生できます。(注)プログラム登録内容も反映して再生します。

■ iMAX Editor 上の No.と再生ボード・装置 iMAX シリーズのアドレス・接点端子対応表

iMAX シリーズ		iMAX Editor
接点制御	バイナリ制御	No.
SW1	01H	1
SW2	02H	2
SW3	03H	3
SW4	04H	4
SW5	05H	5
SW6	06H	6
SW7	07H	7
SW8	08H	8
(以降機種による)	(以降機種による)	:
	:	:
	FEH	254
	FFH	255

【テクニック】

接点端子、アドレスの飛び飛びの割付	本画面で登録します。 (例)SW1-A.wav SW2-無 SW3-無 SW4-B.wav
WAVE ファイルが同一で、プログラム再生登録が異なるカードデータの作成	前回のカードデータをファイル読み込みで読み込みます。 WAVE ファイルの移動、削除、追加します。 カードデータ作成画面で、ファイル名、フォルダ名を変更して新規にカードデータを作成します。
WAVE ファイルを数多く登録しておいて、再生するカードデータを作成	例えば、スマートメディアに収納できれば、255の WAVE ファイルを登録しておいて、プログラム再生登録で、再生内容を変更していくこともできます。 予備の WAVE ファイルも登録しておけます。

16. エディット — プログラム登録（組立再生・リピート回数・出力系統）

各アドレス(接点端子)にフレーム(組立)再生やリピート回数などのプログラム登録ができます。
本登録を行なうと、製品での再生時、

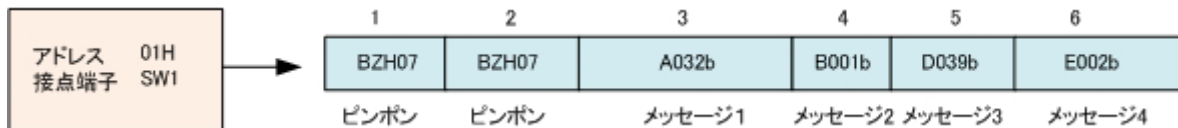
【プログラム登録】

表示	項目	選択	概要
1~8	フレーム(組立再生)	WAVE ファイルを選択	1 アドレス(接点端子)-8WAVEmax.
RP	リピート回数	数字 1~9	1 アドレス(接点端子)-5 回 max.
SP	出力系統	数字 1~9	複数の出力系統を有する製品のみ

(注)リピート回数設定は、上記組立再生が有る場合、全体をリピートします

●フレーム再生(組立再生)

No.	SP	RP	種類	1	2	3	4	5	6	7	8
01	1	1	100	BZH07.wav	BZH07.wav	A032b.wav	B001b.wav	D039b.wav	E002b.wav		
02	1	1	24	A032b.wav							
03	1	1	15	B001b.wav							
04	1	1	16	D039b.wav							
05	1	1	21	E002b.wav							
06	1	1	20	G000b.wav							
07	1	1	26	E002b.wav							
08	1	1	30	B001b.wav							
09	1	1	00								
10	1	1	00								

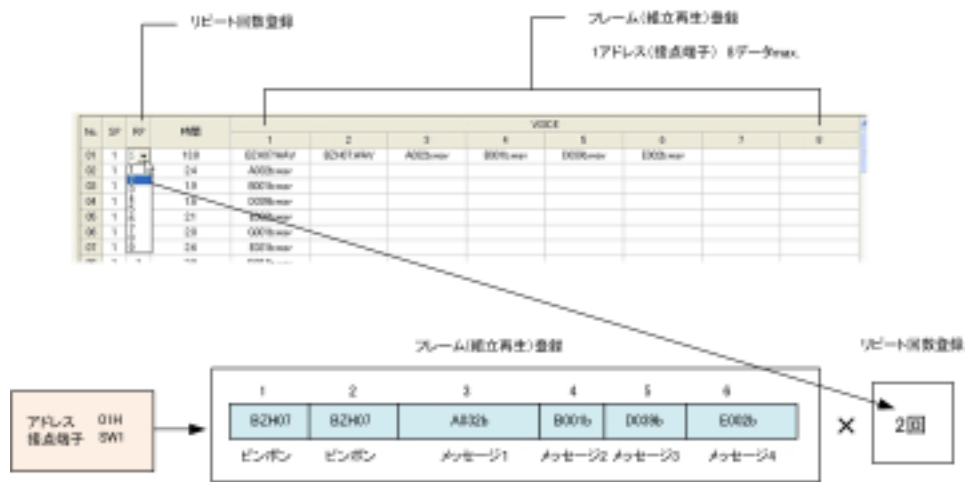


●リピート回数

No.	SP	RP
01	1	1
02	1	1
03	1	2
04	1	3
05	1	4
06	1	5
07	1	6
08	1	7
09	1	8
10	1	9

リピート回数を設定します。(実際は再生回数)

RP	再生回数
1	1 回
2	2 回
3	3 回
4	4 回
5	5 回
6	
7	
8	
9	

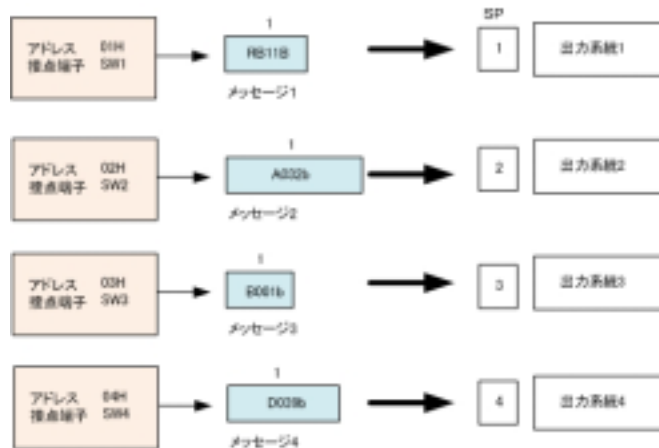


●出力系統

No.	SP	RP
01	1	1
02	2	1
03	3	1
04	4	1
05	5	1
06	6	1
07	7	1
08	8	1
09	9	1

(注)本機能は、使用する製品によります。(WRX6500 など) 音声出力系統を設定します。

- (注)
- ・本機能は、使用する製品によります。(WRX6500 など)
 - ・本機能は、製品による別の機能設定用に使用します。



17. エディット — プログラム登録 (LED・ブザー出力・EX 出力)

LED 表示灯・ブザー出力・EX 出力を有する製品の場合、各アドレス(接点端子)に接続した LED 表示灯・ブザー出力・EX 出力などのプログラム登録ができます。

【プログラム登録】

表示	項目	パターン選択	概要
LED	フレーム(組立再生)	無灯・点灯・滅A・滅B・滅C	時間指定
BZZAR	リピート回数	停止・鳴動・鳴A・鳴B・鳴C	時間指定
EX	出力系統	有・無	再生出力と同期

(注)リピート回数設定は、上記組立再生が有る場合、全体をリピートします

【LED 表示出力】

LED		
	TYPE	TIME
<input type="radio"/>	滅A	3.0
<input type="radio"/>	無灯	3.0
<input type="radio"/>	点灯	3.0
<input type="radio"/>	滅A	3.0
<input type="radio"/>	滅B	3.0
<input type="radio"/>	滅C	3.0
<input type="radio"/>	滅B	3.0
<input type="radio"/>	滅B	3.0

(注)本機能搭載製品のみ本データ有効
LED 表示の点灯点滅パターンを選択します。

LED		
	TYPE	TIME
<input type="radio"/>	滅A	3.0
<input type="radio"/>	滅A	3.0
<input type="radio"/>	滅A	3.0
<input type="radio"/>	滅A	3.0
<input type="radio"/>	滅B	3.0

時間入力します。

【ブザー出力】

BUZER		
	TYPE	TIME
<input type="radio"/>	停止	0.0
<input type="radio"/>	停止	0.0
<input type="radio"/>	鳴動	0.0
<input type="radio"/>	鳴A	0.0
<input type="radio"/>	鳴B	0.0
<input type="radio"/>	鳴C	0.0
<input type="radio"/>	停止	0.0
<input type="radio"/>	停止	0.0

(注)本機能搭載製品のみ本データ有効
ブザー鳴動パターンを選択します。

(注)音声・音響データ出力する場合、停止に設定して下さい。

BUZER		
	TYPE	TIME
<input type="radio"/>	停止	0.0
<input type="radio"/>	停止	0.0
<input type="radio"/>	停止	0.0
<input type="radio"/>	停止	0.0
<input type="radio"/>	停止	0.0
<input type="radio"/>	停止	0.0

時間入力します。

【EX出力】

EX				
	1	2	3	4
<input type="radio"/>	有	無	無	無
<input type="radio"/>	有	無	無	無
<input type="radio"/>	有	無	無	無
<input type="radio"/>	有	有	無	無
<input type="radio"/>	有	有	無	無

(注)本機能搭載製品のみ本データ有効
本出力機能の有無・内容は製品仕様によります。
(注)原則として「無」に設定してご使用下さい

18. テスト機能(一括試験)

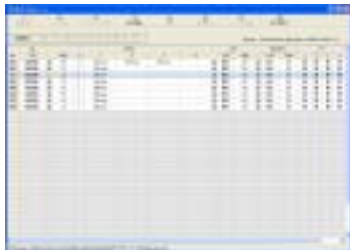
テスト機能により、本画面上で擬似テストをすることができます。

本テスト機能を利用して、エディタ内容を確認・修正できます。

(ご注意)

本テストによる LED 点滅パターン、ブザー鳴動パターン、音声・音響データの音質・音色はパソコンの機能によって多少異なる場合があります。また iMAX シリーズ上でも同様です。

■テスト一別行



IN No.や表示ボタンをクリックするとその行のデータをテストできます。

実行中の行は青色で表示します。

音源データはパソコンのオーディオ機能により再生出力します。

LED・ブザーは設定したパターン・時間で点灯点滅します。

Voice も再生以外に点灯します。

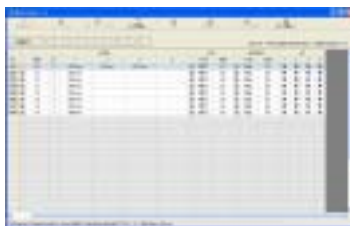
■テスト一括



テスト開始ボタン ON で、IN01から順番にテストします。(一括テスト)
個別テストは下記方法で該当する入力端子(アドレス)をテストできます。

1.テストしたい IN No.の LED のテストマークをマウスでクリックする。

2.テストしたい IN No.をマウスでクリック後、テスト開始ボタン ON



実行中の行は青色で表示します。

音源データはパソコンのオーディオ機能により再生出力します。

LED・ブザーは設定したパターン・時間で点灯点滅します。

Voice も再生以外に点灯します。

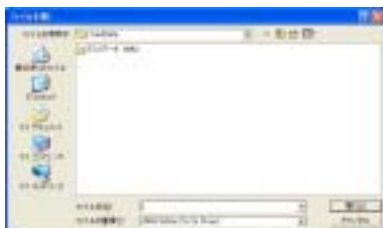
19. コントロールデータ作成

エディタ画面でデータ入力、テストが終了しましたら、コントロールデータ作成画面に所定事項を入力し、コントロールデータを作成します。

作成したコントロールデータは| ¥ マイドキュメント | iMAXEditor CardData | 内にコントロールデータファイル.imx を作成後、WAVE ファイル .wav を収納先から複写します。

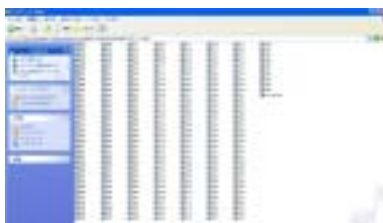
【コントロールデータ作成画面】 (注) * は必須入力事項です。

作成フォルダ名	全角 14 文字まで (例)A11ライン 異常報知
コントロールファイル名	8.3 形式 アルファベット 英数字 (例) abc_001.fva (注) -() [] 等不可



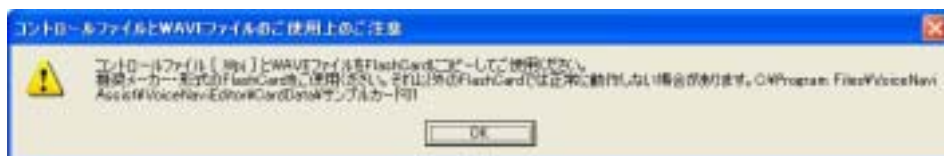
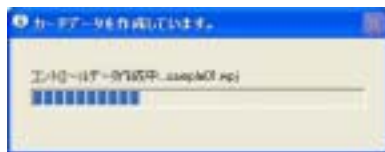
コントロールデータは| 設定 | データ保存先 | で設定したフォルダに収納されます。

■ 作成したコントロールデータデータの収納先
[デフォルト] C:¥ マイドキュメント | iMAXEditor CardData |



作成フォルダ名 | 内にコントロールデータファイル***.imx を作成後、WAVE ファイル .wav を収納先から複写します。

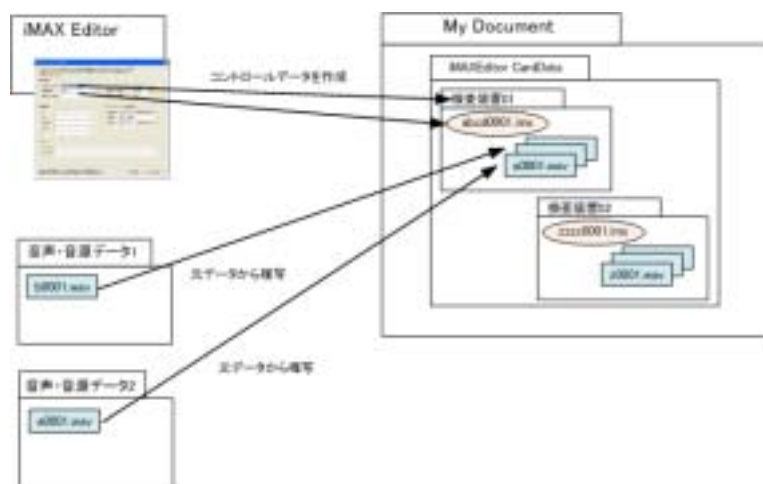
●カード作成ボタンを押すと



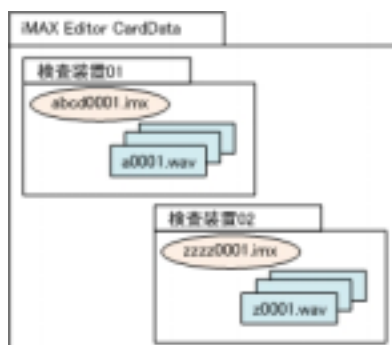
■コントロールデータ.imx と音声・音源データ(WAVE)の複写

|マイドキュメント| iMAXEditor CardData | 内にコントロールデータ作成画面で入力した「入力したフォルダ名」のフォルダを生成後、フォルダ内にコントロールデータ.imx を生成します。併せて、音声・音源データ(WAVE)をこのフォルダ内に複写します。

(注)音声・音源データ(WAVE)のマスターデータはそのままです。



■作成したカードデータの保存場所 |マイドキュメント|iMAXEditor CardData | 入力したフォルダ名のフォルダ |

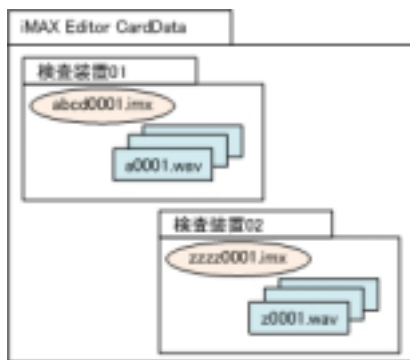


20. 作成したコントロールデータをメモリカードへコピー

iMAX シリーズ付属品 CF カード	カード内のテスト用カードデータが収納されています。 サポートソフト iMAX Editor やブザー・チャイム音などの音源ライブラリも収録されています。 全て、PC にバックアップ後、ごみ箱に捨てます。
新規購入の CF カード	そのまま使用します。
デジカメ・PC・PDA等で使用した CF カード	FAT16 でフォーマットしてから使用します。 デジカメ(FA12/14) PC(FAT32)のため、iMAX シリーズでは認識できません。

PC 付属または市販の USB カードアダプタを使用して、| My Document | iMAX Editor CardData | 入力したフォルダ名 | 内のカードデータまたはフォルダ毎、Flash カードにコピーします。

■作成したカードデータの保存場所



マイドキュメント|iMAXEditor CardData |内にコントロールデータ作成画面で入力した「作成したフォルダ」名のフォルダを自動生成し、フォルダ内にコントロールデータ.imx を生成します。

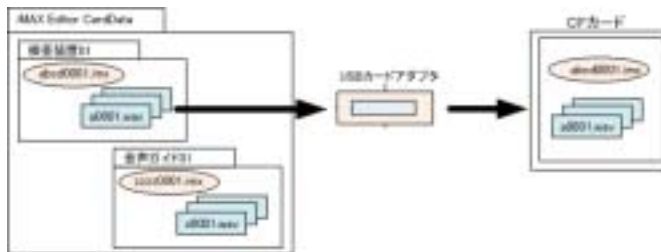
併せて、音声・音源データ(WAVE)をこのフォルダ内に複製します。

(注)音声・音源データ(WAVE)のマスターデータはそのままです。

| マイドキュメント | iMAX Editor CardData | 内

■USB カードアダプタ(カードリーダー)を使用してメモリカードにコピーする場合

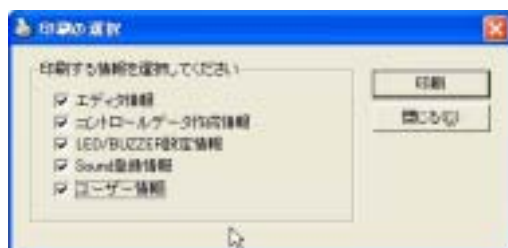
カードデータフォルダ内の.wpj と.wav ファイルをメモリカードにコピーします



(注)
複数の wpj ファイル、フォルダ毎コピーすると正常に動作しません。(認識できない)

21. ドキュメントの印刷

カードデータ作成後、印刷画面で各種情報を A4 横用紙で印刷できます。
使用しているプリンターの印刷画面で枚数を入力します。

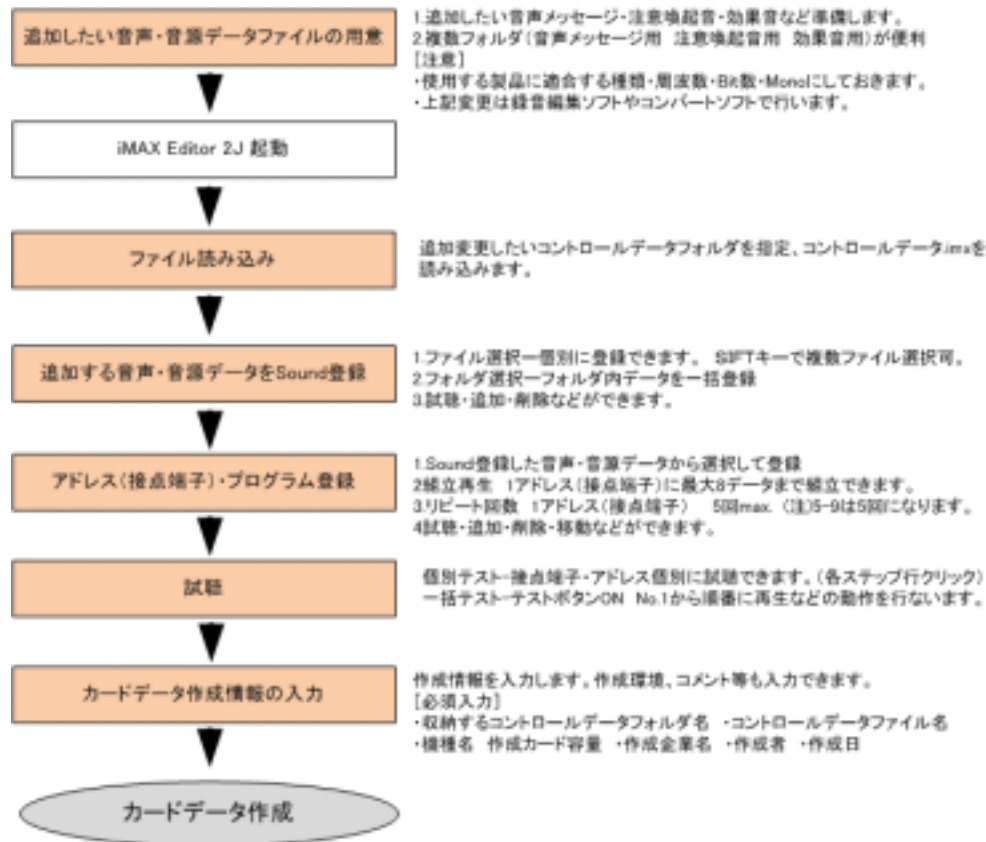


印刷したい情報欄をチェックします

項目	内容
エディタ情報	エディタ画面
コントロールデータ作成情報	カードデータ作成
SOUND 登録情報	WAVE 登録
ユーザー登録情報	ユーザー情報

22. 音声データの追加・変更

iMAX Editor 上で手軽に音声データの追加・変更ができます。

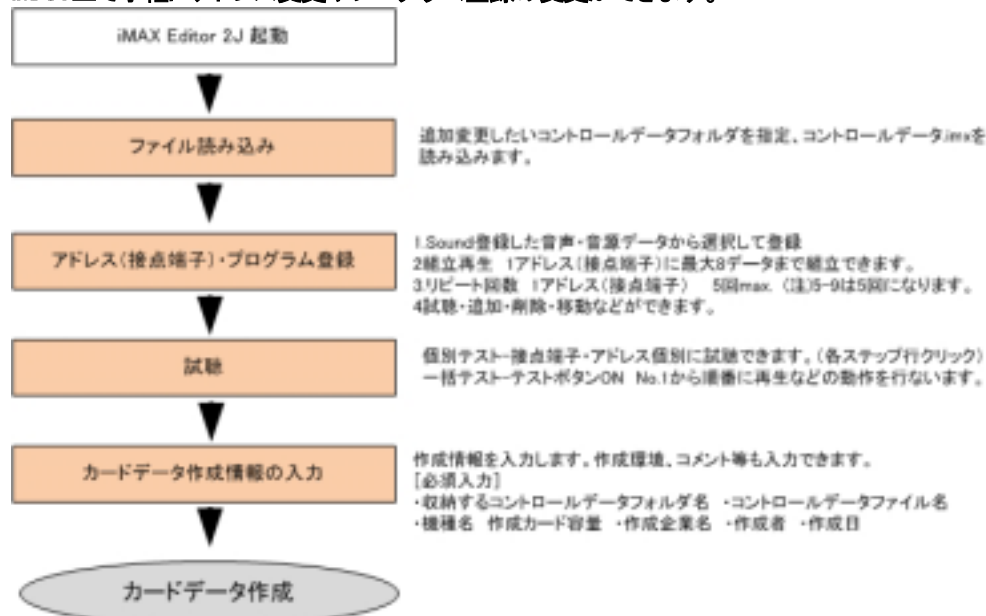


【音声データだけの入れ替えの場合】

同一ファイル名で上書きしても使用できます。但し、ファイル読み込みした場合、時間・データ量が一致しません。

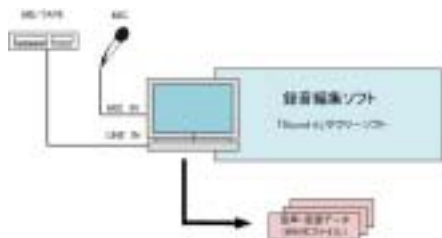
23. 音声データのアドレス(接点端子)の変更・プログラム登録内容の変更

iMAX 上で手軽にアドレス変更やプログラム登録の変更ができます。



参考資料

■パソコン録音で音源データ(WAVEファイル)を作成する場合



お手持ちのパソコンにマイクを接続して録音(デジタル録音)できます。

録音したデータはひとまず、WAVE ファイル形式で保存します。

録音編集ソフト上の録音レベルメーターでレベル調整しながら録音し、波形を見ながら前後の無音データをカットし、保存します。

【録音機器】

区分	メーカー	備考
マイクロフォン	サンワサプライ	MM-MC10 (マイクミュート OFF SW 付)他
スピーカー	サンワサプライ	MM-SPL2(5W)他 (注)PC 付属または内蔵スピーカーで可。

●録音編集ソフト (注)USB サウンドユニット使用に場合、添付ソフトをご利用下さい。

区分	ソフト名	概要
フリーウェア	SoundEngine Free (サウンドエンジン)	フリーウェアの定番ソフト 録音編集はこの一本で OK。編集機能も充実しています。 録音レベルメーターがあるので、録音もし易い。
	WavePaseri (ウェーブパセリ)	シンプル操作・日本語表示でわかりやすい。 録音・編集時間:5分 max. WAVE 録音 & 加工編集機能。 このソフトで物足りない方は市販ソフト「Sound It」をご使用下さい。
市販ソフト	Soundit ! (サウンドイット)	市販品 9,800 円 録音編集ソフト(コンバート・リッピング機能付) 非常にわかりやすい画面・操作で未経験者でも即使用できる。 これ 1 本で、パソコン録音、音楽 CD からリッピング、ファイルコンバート、データの加工編集ができます。

【一口メモ】

デジタル原音 WAVE AIFF オーディオ CD	アナログから D/A 変換した PCM 形式(パルスコードモジュレーション)のデジタル原音データに拡張子を付記して Window OSでは「WAVE」、MAC OS では「AIFF」を呼びます。 市販オーディオ CD のデータも PCM 形式です。 パソコン上ではオーディオデータは TRACK01～と表示されます。
MP3/WMA 他	上記のデジタル原音 PCM から 1/4～1/10 データ圧縮変換したデータを圧縮変換方式により MP3/WMA データと呼びます。本来、非可逆圧縮データですので本来の原音データには戻せないのですが、近年のコンバート機能を有する録音編集ソフトではWAVEファイルなどの原音データ(近似音)や他の圧縮データへ変換できます。
MIDI	近年のコンバート機能を有する録音ソフトでは WAVE/MP3 ファイル形式などへ変換できます。

■テキスト音声変換ソフトで音声データ(WAVEファイル)を作成する場合

市販のテキスト音声変換ソフトを使用して音声データ(WAVE ファイル)を作製・保存できます。
音質やアクセント等の特質を理解の上、購入・ご使用下さい。

名称	メーカー	メモ
VoiceNavi Announcer 2J (Excel アドオンソフト)	三共電子	「ボイス君のテキストスピーチ 2」バンドル Excel 上で最大 255 メッセージまで試聴・作成できます。 [推奨用途] ・自社工場製造・検査ラインの音声警報・作業指示 ・音声メッセージの原稿内容評価 ・社内開発時評価用 (本番はスタジオ録音)
ボイスソムリエ	日立ビジネスソリューション	高品位 約 9.8 万円 19.8 万円(企業内利用)
美音工房	日立情報制御ソリューションズ	高品位 約 19.8 万円(企業内利用)

(注)上記以外のテキスト音声変換ソフトも多数あります。

■オーディオ CD/MP3・WMA・MIDI ファイルから音源データ(WAVEファイル)を作成する場合



オーディオ CD からリッピング、音源データ(WAVE ファイル)の加工編集したい場合、市販ソフト SoundIt を推奨します。フリーウェアソフトで行なう場合、自社責任で行って下さい。

(注)音源データの著作権につきましては自社責任で処理を行って下さい。

区分	ソフト名	概要
フリーソフト	CD2WAV32 日本語専用版有	リッピングソフト フリーウェアでここまでできるかと驚嘆！
市販ソフト	Soundit ! 「サウンドイット」	市販品 9,800 円 録音編集ソフト リッピング ファイルコンバート

(注)上記ソフト一評価済み。他に同様なソフトがありますが自社責任でお願いします。

■困った時に (トラブルシューティング)

困った状態	推定原因	対策
iMAX Editor 上で登録・試聴できる音声・音響データ(WAVE ファイル)が iMAX シリーズ上で再生できない	iMAX シリーズでは認識できない WAVE ファイル。 録音スタジオなどで使用している高機能の録音編集ソフト(特に MAC)の場合、WAVE ファイルのタグ情報量が多く、iMAX シリーズでは認識できない場合がある。	高機能の録音編集ソフトの場合、タグ情報の設定ができません。 その設定を「無」に設定し、保存します。 下記のソフトを使用して、タグ情報「無」にし、保存します。 フリーソフト SoundEngineFree 設定-タグ情報の保持のチェックボックスのレ印をはずし、別ファイル名(または同一ファイル名)で保存。
	拡張子は WAVE ファイルですが、実際は異なる。WindowsOS では、拡張子に関係なく対応音源データは再生します。	フリーソフト SoundEngineFree でその音声・音源データが読み込めるか確認します。読み込めない場合、WAVE ファイル形式ではありません。
		ファイルコンバート機能を有する SoundIt!(市販ソフト)などでコンバートしてみます。 (注)コンバートできない場合も多い。
iMAX Editor がインストールできない		Vista/XP では管理権限のあるユーザーアカウントでないとインストールできません。
WAV/WRX シリーズのカードデータを読み込み、カードデータを編集したい		使用できます。wpj ファイルを読み込みます。